

補助事業番号 21-1-111

補助事業名 平成21年度 日本オリンピック委員会が行うスポーツ競技力の向上補助事業

補助事業者名 財団法人 日本オリンピック委員会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

オリンピック憲章に基づく国内オリンピック委員会として、オリンピックの理念に則り、オリンピックムーブメントを推進する。またオリンピック競技大会等国際総合競技大会に選手団を派遣することにより、スポーツを通じて国際友好親善に図るとともに、我が国スポーツ選手の育成強化を図り、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

スポーツを通じた国際平和に寄与するオリンピックムーブメントの推進並びに、スポーツ選手の育成強化を図るという目的を達成するため広報出版情報事業、第21回オリンピック冬季競技大会選手団派遣事業、第25回ユニバーシアード競技大会選手団派遣事業、第5回東アジア競技大会選手団派遣事業、オリンピックデー記念事業、オリンピックムーブメント推進ツール作成事業を展開した。

ア. 広報出版情報事業

ホームページを広報ツールのメインと位置付け、毎週、内容を更新、オリンピックムーブメント、選手強化事業、オリンピック競技大会招致活動、スポーツと環境保全活動等に対する本会の取り組みを紹介するとともに、2010年2月にカナダ/バンクーバーで開催された第21回オリンピック冬季競技大会、2009年7月にセルビア/ベオグラードで開催された第25回ユニバーシアード競技大会、及び2009年12月にホンコン・チャイナ/香港で開催された第5回東アジア競技大会に派遣した日本代表選手団の成績等に関する情報、各種国際総合競技大会に関する情報の提供を行う等広報活動を展開した。また、機関誌「オリンピアン」を10,000部発行。全国のスポーツ団体等関係機関及び高等学校等へ無償にて配布、オリンピックムーブメントの推進を図った。

イ. 第21回オリンピック冬季競技大会選手団派遣事業

平成22年 2月12日 ～ 2月28日 カナダ/バンクーバー

橋本聖子団長以下205名を派遣。実施6競技に参加、銀3、銅2の計5個のメダルを獲得し、4位か

ら8位の入賞者総数は45名となった。

ウ. 第25回ユニバーシアード競技大会選手団派遣事業

平成21年 7月1日 ～ 7月12日 セルビア／ベオグラード

田中英寿団長以下392名を派遣。実施12競技に参加、金20、銀21、銅32の計73個のメダルを獲得し、メダル獲得数及び総入賞数ともに過去最高となった。

エ. 第5回東アジア競技大会選手団派遣事業

平成21年12月5日 ～12月13日 ホンコン・チャイナ／香港

水野正人団長以下544名を派遣。実施22競技に参加、金62、銀58、銅70の計190個のメダルを獲得した。

オ. オリンピックデー記念事業

近代オリンピックの復興とその主催者である国際オリンピック委員会（IOC）の創設が決議された1894年6月23日はオリンピックデーと位置付けられ、世界的にオリンピックムーブメントを普及啓発する事業が展開されている。日本国内においては一般市民がオリンピックと共に参加するジョギング等を中心としたプログラムを全国9会場で開催するとともに、オリンピックコンサートを開催しオリンピックムーブメントの推進を図った。

オリンピックデーラン	大阪大会	平成21年 6月 7日	6,668名
	青森大会	6月28日	1,564名
	喜多方大会	7月 5日	863名
	士別大会	8月23日	1,106名
	神戸大会	10月25日	1,732名
	長野大会	11月 1日	2,241名
	ひたちなか大会	11月22日	1,803名
	和歌山大会	平成22年 1月10日	2,513名
スポーツ祭り 2009	(東京)	平成21年10月12日	12,856名
オリンピックコンサート		平成21年 6月14日	3,085名

カ. オリンピックムーブメント推進ツール作成事業

オリンピックの基本理念、本会の諸活動を掲載したパンフレット40,000部及び、カレンダー6,000部を作成し、広く一般に配布することで更にオリンピックムーブメントの推進を図った。

2. 予想される事業実施効果

ア. 広報出版情報事業

JOCホームページの更新と機関誌「オリンピアン」の発行による新しい情報提供により即座に国民の需要に応じることが出来るとともに、スポーツを通じて世界平和に貢献するオリンピックムーブメントがより一層推進されるものと期待できる。

イ. 第21回オリンピック冬季競技大会選手団派遣事業

大会を通じて国際友好親善に尽くしたことが我が国のスポーツの振興に寄与するものと期待される。ただ、新たな課題として、行動規範の遵守や競技ルールを理解等の国を代表することに対する基本的な取り組みが未熟であったことを認識した。今後はこれらの問題を解決し、我が国の国際競技力を更に向上させることが期待される。

ウ. 第25回ユニバーシアード競技大会選手団派遣事業

本大会に出場した多くの選手が2020年にイギリス・ロンドンで開催される第30回オリンピック競技大会を始めとした今後の国際大会の日本代表選手として、国際友好親善を更に深めることが期待される。

エ. 第5回東アジア競技大会選手団派遣事業

2010年に中国・広州で開催される第16回アジア競技大会に向け、更なる国際競技力の向上、及び国際友好親善を深めることが期待される。

オ. オリンピックデー記念事業

オリンピックデーラン大会、スポーツ祭り2009、オリンピックコンサートのようにスポーツやオリンピックを身近に感じることができる機会を多く提供することによって、スポーツを通じて世界平和に貢献するオリンピックムーブメントがより一層推進されるものと期待できる。

カ. オリンピックムーブメント推進ツール作成事業

様々な機会を利用して、オリンピックの基本理念、本会の取り組んでいる諸活動を広く紹介す

ることで、更にスポーツの持つ素晴らしさ、オリンピックの意義を伝え、オリンピックムーブメントを推進することが期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

ア. 広報出版情報事業

機関誌「オリンピック」 10,000部×1回

(都道府県体育協会・教育委員会、全国高等学校、関係諸団体)

イ. 第21回オリンピック冬季競技大会選手団派遣事業

ハンドブック・名簿（和文） 4,000部（関係競技団体、選手団、大会関係者）

ハンドブック・名簿（英文） 200部（海外国内オリンピック委員会、メディア）

ウ. 第25回ユニバーシアード競技大会選手団派遣事業

ハンドブック・名簿（和文） 1,600部（関係競技団体、選手団、大会関係者）

ハンドブック・名簿（英文） 100部（海外国内オリンピック委員会、メディア）

エ. 第5回東アジア競技大会選手団派遣事業

ハンドブック・名簿（和文） 1,900部（関係競技団体、選手団、大会関係者）

ハンドブック・名簿（英文） 100部（海外国内オリンピック委員会、メディア）

オ. オリンピックムーブメント推進ツール作成事業

パンフレット 40,000部（オリンピックデーラン、オリンピックコンサート参加者等）

カレンダー 6,000部（関係競技団体、オリンピック強化指定選手等）

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 日本オリンピック委員会（ニホンオリンピックイイんカイ）

住所： 150-8050

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館

代表者： 会長 竹田 恆和（タケダ ツネカズ）

担当部署： 総務部（ソウムブ）

担当者名： 主事 安達 和重（アダチ カズシゲ）

電話番号： 03-3481-2233

F A X : 03-3481-0977

E-mail : k-adachi@joc.or.jp
URL : <http://www.joc.or.jp>